



# Sunday School クラスルーム

日本キリスト教団 荻窪清水教会 日曜学校だより No.34 2023. 4. 30 発行

## 「何をお願いしますか？」

ローマの信徒への手紙8章26～30節

ごきげんよう!

牧師 梅津 裕美

みなさんがお祈りする時、神さまに願い事をするでしょう。聖書が「求めなさい。そうすれば与えられる。」と教えていますから、わたしたちは素直な心で神さまに願い事ができるのではないのでしょうか？

では、祈りの中であなたが願うのはどんなことでしょうか？ 健康をください。心の平安をください。あるいは、この世界を平和にしてください。…などなど、お金持ちにしてください。成績を上げてください。かっこよくしてください。…そういう願い事も心の中にあるかもしれません。数え上げれば、多くの願い事が並ぶことでしょう。

この4月から「主の祈り」を学んでいます。「祈る時はこう祈りなさい」とイエスさまが教えてくださった「主の祈り」ですから、この祈りの中でイエスさまは願い事を祈らせてくださいます。ところが「主の祈り」で最初の願い事は、なんと「御心が行われますように」という祈りなのです。自分のために、こうしてください。ああしてください。という祈りではありません。願うことは、ただ「神さまの御心が行われますように」でした。

なぜでしょう？ それは、神さまの御心がかもっとも良いことだからです。神さまがわたしたちのためになしてくださることは、神さまの愛に根差しています。ご自分の御子を犠牲にしてまで救う愛で、わたしたちを愛してくださるから、神さまはもっとも良いことをわたしたちにしてくださるのです。これが、わたしたちが神さまを信頼する理由です。だから、「神さまの御心が一番!」と確信をもって言えるのです。

あんなに祈ったのに、祈りが聞かれなかった…と感じたことがあるでしょうか？ いいえ！ その時も、あなたの祈りを神さまはよく聞いてくださったのです。よくよく聞いて、その上で、あなたにとってもっとも良いことをしてくださったのです。たとえ、あなたの願い事とは違う結果であっても、神さまはあなたにとって、もっとも良いものを与えてくださる天の父なのです。



### 堀内長老からのメッセージ

4月から分級でトーンチャイムの練習が始まりました。生徒の皆さんはすでに学校でトーンチャイムにふれた方も多く、また子どもはおとなに比べて、飲み込みが早く、今後が楽しみです。まず始めにこどもさんびかの中から1曲と考えています。きょうはその讃美歌についての話です。1987年に作られた『こどもさんびか』にはわたしたちが讃美歌を歌う意味について書かれていますので、その文章の中から紹介します。「神さまを礼拝する時、わたしたちは讃美歌を歌います。わたしたちを愛してくださるイエスさまは、神さまがおくってくださいました善い方です。また神さまはわたしたちに多くの善いものくださいます。ですから、善い方、善いものをくださった神さまをほめたたえて歌うのです。イエスさまも子どもの時から讃美歌を歌われました。十字架の前にも歌われました(マタイ26:30)。パウロも獄の中で歌いました(使徒16:25)。讃美歌をいっしょに歌う、仲間の輪が広がって、神さまによる平和な世界になるように、祈りましょう」 わたしたちもイエスさまやパウロのように心を込めて讃美の歌を歌いましょう。 ♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪